

2021年度 事業報告書

2020年4月から日本全国に感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、2021年度においても収束することはなく、年度初めの4月から5月にかけてはアルファ株を中心とする第4波が、続く7月から9月にかけては更に感染力と重症化を増したデルタ株による第5波が、そして年度終盤の1月から3月にかけては一層感染力・伝播性の高いオミクロン株(BA.1)による第6波へと感染拡大の波が続き、京都府においてもその度に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される状況となった。

2021年度も栄光会では、新型コロナウイルス感染防止対策本部を中心に全職員が一体となって昨年度から継続しているコロナ感染防止対策を徹底し、周辺地域や他事業所における感染状況等の情報収集と水際対策を強化するとともに、年度前半の5月から6月にかけて栄光会の特養入居者および職員に対して2回の新型コロナワクチン接種を実施、更に翌年の2月と3月には3回目のワクチン接種をおこなった。

これらの対策や取り組みなどによって2021年度も前年度に引き続き、栄光会の入居者および利用者に1名も新型コロナウイルス感染者を発生させることなく事業を継続することができた。

事業運営に関しては、「コロナ禍におけるサービス向上への取り組み」として外部来客者を招いての大規模行事や外出行事などは自粛し一人ひとりの入居者や利用者へ寄り添う形での小規模行事やレクリエーションを企画実施し、その様子は各施設のfacebookなどのSNSや家族向けのお便り等を通じて積極的に情報発信した。また職員研修はコロナ感染防止の観点から前年度まで6年間継続して行ってきた法人全事業所一体型の合同研修会(年間6回開催)を4月の役付職員研修を除いて休止し、各施設・各事業所単位を基本に少人数・複数回実施の施設内研修を行い、施設外の研修はWEB形式のものを選択し参加した。入居者家族や外部来客者の施設内立ち入りを禁止・制限しているコロナ禍にあって外部からの客観的なサービス評価や自己点検を目的に本年度計画していた「介護サービス第三者評価」の受診は、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令によって延期となり、きよみず苑特養以外は年度内に受診ができず次年度に持ち越すこととなった。入居者の健康管理については、本年度より健康管理課を本部管理部から特養サービス部へ組織変更し年々重度化する特養入居者の健康管理の強化を図った。また年度終盤でのきよみず苑担当医師の変更に伴い、きよみず苑の特養とサ高住の入居者に対する医療サポート体制を再構築した。

事業実績に関しては、特養サービス部において「東旺苑・きよみず苑」の両特養ともに入居者の高齢化や重度化・疾病の重症化等によって入院者数や入院日数が増加、これに伴って入退居数も増加し、前年度に比べ長期入所の平均充足率が低下した。特にこの状況はきよみず苑特養において顕著に現れた。しかし入院等で増加した東旺苑の空床に短期入所の新規利用者等の受け入れを積極的に行い、東旺苑の短期入所は大きく実績を伸ばすことができた。一方、在宅サービス部においては本年度も強いチームワークと連携体制を発揮し、各事業所が前年度を上回る或いは前年度に匹敵する実績を確保した。とりわけきよみず苑短期入所については、全ての月において100%を超える稼働実績を達成した。

支出関係では、この数年間重点課題として取り組んできた人件費適正化の最大の鍵である「派遣職員比率の最小化」を本年度上半期に一気に加速させ、派遣職員の直接雇用への切り替えと新職員確保の強化などによって、本年度始めに特養サービス部に13名配置していた派遣職員を下半期の10月には0名に移行することができた。これにより今年度は派遣職員費支出を2,900万円減少させ、人件費全体では1,100万円強の経費削減が図れた。また老朽化が進む東旺苑において設置後13年が経過し一部故障のため修理不可能な状態となっていた5台連結システムの給湯器について、3月に新機種に入替えを実施し整備を行なった。

コロナ禍にあって「コロナ禍だから何もできない」ではなく、それを逆転の発想・プラス思考で捉え「コロナ禍だから取り組める」「コロナ禍だからサービスの向上に繋げる」という本年度の事業計画のもと、全職員がこのコンセプトを共有し種々の取り組みをおこなった結果、小規模行事やレクリエーションを通じての入居者・利用者との関わりや関係性の強化、小規模複数回実施型の内部研修による介護の基本スキル「接遇・認知症ケア・身体介護」のレベルアップ、更にはコロナ感染防止対策を通しての職員の感染症に対する知識やスキルの向上と職員の団結力・組織力の強化など多くの成果を得ることができた。

また本年度の取り組みのもう一つの大きな柱であった「安定した経営への取り組み」については、派遣職員比率の最小化が実現できただけでなく、新規職員の採用も前年度実績を9名上回る27名を確保し、加えて来年度新卒者も2名の採用内定となった。2021年度も栄光会の最大の強みである組織力と団結力を発揮し、資金収支差額において前年度実績を約1,700万円上回る3,000万円の黒字を確保した。

1. 特養サービス部

前年度に引き続き、本体施設である東旺苑とサテライト施設であるきよみず苑の関係強化や職員のスキルアップを図る為の積極的な人事異動を継続的に実施し職員教育に注力した。また引き続き面会制限などを含むコロナ感染対策を徹底する事でクラスター感染を発生させる事なく経過する事ができた。研修や勉強会については、感染対策として少人数・複数回の実施をする事で、コロナ禍においても特養部として職員研修機会を確保する事ができ、人員について毎月職員比率を管理・把握し必要に応じて柔軟な配置転換等を実施する事で派遣職員ゼロを達成する事ができた。年度内実施を計画していた第三者評価については、きよみず苑は年度内に受診、東旺苑においてはまん延防止等重点措置の影響で次年度4月に食い込む形での受診となった。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2021年度は、引き続き介護報酬加算の継続算定に努め、入所申込者を随時受け付け定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入・退所に努めたが、過去にない退居の多さと入居後コロナ禍における面会制限等の実施を敬遠され、家族様が直前に断られるケースも相次ぎ対応が遅れてしまった。

コロナ禍の影響を鑑み、ボランティアの受け入れや外出を伴うレクリエーションの実施は継続中止。毎年5月に実施している緑旺祭は感染対策を十分に実施した上で開催するも、敬老祝賀会については、感染状況に配慮し小規模な形で敬老レクリエーションとして実施。都度 SNS の活用や東旺苑日和を発行し情報発信に努めた。稼働面について全体的に入居者の重度化が顕著に見られ、入院日数・入院人数共に前年比を上回る結果となったが、緊急措置を含めたショートステイの空床利用を積極的に実施した。

介護課においては、継続的に老朽化した設備や備品の修理・購入を積極的に実施し環境の改善に努め、また課題である認知症ケアの向上に向け複数回にわたる勉強会を実施しサービスの向上に努めた。

1 入居の状況（2021年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数（人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	10	43	53	1,500	1,448	96.5
5月	10	42	52	1,550	1,493	96.3
6月	9	41	50	1,500	1,447	96.5
7月	9	41	50	1,550	1,500	96.8
8月	9	43	52	1,550	1,502	96.9
9月	9	42	51	1,500	1,465	97.7
10月	9	42	51	1,550	1,523	98.3
11月	10	42	52	1,500	1,468	97.9
12月	10	41	51	1,500	1,535	99.0
1月	10	41	51	1,550	1,542	99.5
2月	10	40	50	1,550	1,350	96.4
3月	10	42	52	1,400	1,470	94.8
合計	115	500	615	18,200	17,743	97.2
平均	9.6	41.7	51.3			

参考 2020年度 年間合計充足率 97.6%

2 入院の状況（2021年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
人数（人）	4	3	3	3	4	3	
延人日（人日）	27	40	31	49	29	34	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	3	2	1	1	2	5	
延人日（人日）	26	26	15	8	48	58	391

参考 2020年度 入院者数延べ 36人、延べ日数は 323人日

3 入・退居の状況 (2021年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
4	7	5	1	17	2	6	6	2	16

参考 2020年度の入居は13件、退居は12件、入院中退所は3件

4 入居者の介護度 (2021年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度3	11	13	13	13	12	12	12	12	13	10	9	10	22.8%
介護度4	15	14	14	15	15	16	17	19	18	17	17	19	31.9%
介護度5	27	25	23	22	25	23	22	21	20	24	24	23	45.4%
平均	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.23

参考 2020年度の介護度は1から0%・0%・19.5%・19.5%・60.9% 平均介護度は、4.41

5 入居者の年齢構成 (2021年度末現在)

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	6	9	17	9	7	2	50
割合	0%	0%	12%	18%	34%	18%	14%	4%	100%

2021年度末の平均年齢は、88.1歳

参考 2020年度末の平均年齢は、88.3歳

6 入居者の入居期間 (2021年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	14	11	4	5	2	5	3	
割合	28%	22%	8%	10%	4%	10%	6%	
	7年～	8年～	9年～	10年～	15年～	20年～	25年～	計
人数	3	1	0	2	0	0	0	
割合	6%	2%	0%	4%	0%	0%	0%	100%

7 保険者の状況 (2021年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	南区	北区	右京区	中京区	大津市	計
人数	34	7	4	1	1	1	1	1	50
割合	68%	14%	8%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2021 年度において、継続利用者の相次ぐ施設入所や逝去を受け、例年以上に新規利用者等の受入を積極的に行い 23 名の新規利用者の受け入れを実施、うち 7 名は継続利用に繋げることができた。コロナ感染症の影響を鑑み空床利用に対して消極的にならざるを得ない時期もあったが、居室の環境整備等に注力し緊急的なニーズにも柔軟に対応するように心がけた結果、前年度を大きく上回る平均稼働率を達成する事ができた。

1 利用の状況（2021 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	2	8	10	120	113	94.2
5 月	3	7	10	124	108	87.1
6 月	5	7	12	120	140	116.7
7 月	4	7	11	124	102	82.3
8 月	5	7	12	124	131	105.6
9 月	6	10	16	120	179	149.2
10 月	4	11	15	124	177	142.7
11 月	5	8	13	120	155	129.2
12 月	5	11	16	124	179	144.4
1 月	4	12	16	124	177	142.7
2 月	4	10	14	112	163	145.5
3 月	3	9	12	124	154	124.2
合計	25	47	72	1,460	1,778	
平均	4.2	7.8	12		148.2	121.8

参考 2020 年度の新規利用者は 16 名、平均利用者数は 11 名、稼働率は 105.9%

2 介護度別の延利用者数（2021 年度）

（日）

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	14	18	26	49	6	113	3.1
5 月	0	28	15	55	0	98	2.9
6 月	0	41	37	57	5	140	3.5
7 月	0	17	33	51	1	102	3.4
8 月	8	20	66	37	0	131	2.8
9 月	8	37	85	49	0	179	2.8
10 月	12	43	74	48	0	177	2.7
11 月	19	36	57	43	0	155	2.9
12 月	12	26	97	40	4	179	3.0
1 月	0	20	125	24	8	177	3.2
2 月	0	29	93	41	0	163	3.1
3 月	9	34	85	26	0	154	2.8
合計	82	349	793	530	24	1,778	
平均	6.8	29.1	66.1	44.2	2	148.2	3.03

参考 2020 年度の平均介護度は 3.2 合計延利用者数は 1,511 名

3 利用者の年齢構成（2021 年度利用者実績）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	1	0	4	1	8	9	6	5	34
割合	2.5%	0%	12%	2.5%	24%	26%	18%	15%	100%

○研修受講状況（2021年度）

施設内研修

4月	役付職員研修（2021年度事業計画・人材育成）	法人
6月	高齢者虐待防止勉強会①	施設内
7月	高齢者虐待防止勉強会②	施設内
8月	誤嚥性肺炎勉強会	きよみず苑
9月	認知症ケアと接遇マナー①	施設内
10月	認知症ケアと接遇マナー①	施設内
11月	消防避難訓練（夜間想定） 普通救命講習 リスクマネジメント研修①	施設内
12月	ノロウイルス勉強会 インフルエンザ勉強会 身体的拘束適正化について	施設内
1月	夜間緊急時対応 高齢者虐待防止・身体的拘束適正化について	施設内
2月	コンプライアンスについて 認知症ケアと接遇マナー② リスクマネジメント研修②	施設内
3月	消防避難訓練（日中想定）	施設内

施設外研修

5月	認知症ケア基礎研修（ZOOM）
11月	京都市認定調査員現任研修会（WEB）

○行事実施状況（2021年度）

4月	誕生日レク
5月	緑旺祭、菖蒲湯、誕生日レク
6月	おやつレク、七夕飾り付け
7月	誕生日レク、流しそうめん
8月	誕生日レク
9月	敬老祝賀レク、利用者レントゲン検査
10月	誕生日レク、不在者投票
11月	おやつレク
12月	クリスマスレク、鏡餅作成レク、誕生日レク
2月	誕生日レク、おやつレク
3月	誕生日レク、おやつレク

○介護課

- ①サービスの質の向上
コロナ禍において、慢性的に外部との接触が無い中で、少人数・複数回の施設内研修を実施する事で、認知症ケア・接遇マナー・介護技術の維持・向上に努めた。
- ②家族様との信頼関係の構築
長期間にわたる面会制限の実施において、各担当者から定期的にご家族様へ現況を報告するように努めた。

○支援課（ケアマネジメント）

- ①施設サービス計画書について
課題総括整理表を活用し適切に計画書を作成。また、課題が生じた際も速やかに計画書の見直しを実施した。新規入居や退院時に事前計画書を作成し、円滑な支援を実施できるように多職種での連携や栄養プランとの連動も行った。
また全ての計画書について、京都府介護支援専門員会が推進する京都市式ケアプラン点検ガイドラインに基づいて作成した。
- ②サービス計画進行管理表について
前年度に引き続き作成し計画作成における不備防止に努めた。
- ③介護保険更新申請について
有効期間の満了に向け滞りなく実施し、また心身の状態変化等に伴う区分変更申請も適宜実施した。

○栄養管理課

- ①栄養マネジメント
新規入居者のカンファレンスにコロナ禍の影響もあり、家族様や本人の参加を積極的に実施する事ができなかった為、家族来苑時に現状を伝えるように努めた。また栄養リスク別にモニタリングを実施し、多職種連携を心掛け、高リスクの利用者については月2回の体重測定を実施し入居者の状態把握に努めた。
- ②給食について
毎月定期に委員会を開催し、残食の検証や食事提供に係る改善点を検討し共有するように努めた。また面前提供の機会を活用し、より良い食事環境の実現に取り組んだ。
- ③その他
- ④毎日ミールラウンドを実施し日々の利用者情報の把握に努めた。

○健康管理課

- ①嘱託医との連携に努める事で利用者の異常の早期発見・早期治療に継続的に取り組んでいるが、入院者数は前年度とほぼ横ばいの状態。入院日数が前年度を上回るだけでなく、それぞれの利用者の高齢化・重症化に比例して入院中の死去退居や転院退居も前年度を上回る数字となっている。
- ②感染症に関して、コロナ禍における基本的な感染予防策が功を奏し、職員・入居者共に罹患はなく経過する事ができたが、感染状況やまん延防止等重点措置の発令に合わせて面会禁止は継続的に行った。
- ③研修及び委員会を通して服薬マニュアル、感染症マニュアル、緊急時対応表の随時見直しを行った。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑 (ユニット型・地域密着型・サテライト特養)

2021年度において、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設の一部を開放した全体行事は中止した。また地域密着型事業所としての運営推進会議の開催は、感染対策の一環として対面開催はせず報告書類を作成しそれを以て報告とした。年次で実施しているすみれフェスは感染対策を実施した上で開催。敬老祝賀会については、敬老レクとして実施し、施設内研修等についても、一部計画を変更し人数制限や会場の換気等に配慮しながら積極的に実施した。

コロナ禍における対応については、従来と違った形で、より入居者様に寄り添い、関わり強める事を意識した上での食事レクやおやつレクの実施をする事ができた。

入退居について、例年以上に退居が続く中で円滑な入居調整を実施し空床の減少に努めた。

看護において、入居者の高齢化・重度化が顕著に表れる入院日数となっているが、コロナ禍での感染防止を考慮し併設ショート有空床利用については実施する事ができなかった。

1 入居の状況 (2021年度)

	入居者数 (人)			満床時延人数 (人)	延人数 (人)	充足率 (%)
	男性	女性	合計			
4月	4	25	29	870	864	99.3
5月	4	25	29	899	879	97.8
6月	5	25	30	870	804	92.4
7月	5	25	30	899	836	93.0
8月	5	24	29	899	806	89.7
9月	4	26	30	870	786	90.3
10月	5	25	30	899	847	94.2
11月	5	25	30	870	837	96.2
12月	7	22	29	899	881	98.0
1月	7	22	29	899	899	100
2月	7	22	29	812	812	100
3月	7	22	29	899	899	100
合計	65	288	353	10,585	10,150	
平均	5.4	24	29.4		845.8	95.9

参考 2020年度の平均充足率は99.3%

2 入院の状況 (2021年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数 (人)	0	2	4	2	5	3	3	4	1	0	0	0	24
延人日 (人日)	0	20	56	62	78	71	51	31	10	0	0	0	379

参考 2020年度の入院者数は、延べ3人で、延べ日数は44人日

3 入・退居の状況 (2021年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
10	2	1	0	13	5	1	7	0	13

参考 2020年度の入退居は、各3件

4 入居者の介護度 (2021年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合 (%)
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度3	7	8	8	10	10	11	11	11	11	11	11	11	34.0
介護度4	13	13	13	14	13	13	13	13	14	13	13	13	44.8
介護度5	9	8	9	6	6	6	6	6	4	5	5	5	21.2
平均	4.07	4.00	4.03	3.87	3.86	3.83	3.83	3.83	3.76	3.76	3.76	3.76	3.87

参考 2020年度 平均介護度は4.04

5 入居者の年齢構成 (2021 年度末現在)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	1	0	2	5	6	6	6	3	29
割合	3.4%	0%	6.9%	17.2%	20.7%	20.7%	20.7%	10.4%	100%

2021 年度末の平均年齢は、89.4 歳

参考 2020 年度末の平均年齢は、89.7 歳

6 入居者の入居期間 (2021 年度末現在)

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	10	3	3	2	3	1	7	29
割合	34.5%	10.2%	10.2%	6.8%	10.2%	3.4%	24.7%	100%

7 保険者の状況 (2021 年度末現在)

	山科区	東山区	左京区	伏見区	上京区	計
人数	22	4	1	1	1	29
割合	75.9%	13.9%	3.4%	3.4%	3.4%	100%

○研修受講状況 (2021 年度)

施設内研修

4 月	2021 年度事業計画、人事考課と人材育成 口腔ケアについて (ごとう歯科)	法 人 施設内
5 月	熱中症・脱水について (大塚製薬)	施設内
6 月	食中毒勉強会 日中夜間緊急時対応①	施設内
7 月	尿路感染症勉強会 (ユニチャーム) 日中夜間緊急時対応②	施設内
8 月	身体的介護技術勉強会① 誤嚥性肺炎勉強会 (フードケア)	施設内
9 月	身体的介護技術勉強会② 認知症ケアと接遇マナー①	施設内
10 月	認知症ケアと接遇マナー① インフルエンザ勉強会 身体的拘束適正化・虐待予防①	施設内
11 月	ゾーニング・ガウンテクニック研修 ノロウィルス勉強会 普通救命講習 身体的拘束適正化・虐待予防②	施設内
12 月	危機管理予測①	施設内
1 月	危機管理予測② 消防訓練 褥瘡予防勉強会	施設内
2 月	コンプライアンスと利用者人権 認知症ケアと接遇マナー②	施設内
3 月	認知症ケアと接遇マナー② ハラスメント研修	施設内

施設外研修

11 月	京都市認定調査員現任研修会 (WEB)
------	---------------------

○施設行事実施状況（2021年度）

4月	誕生日レク、おやつレク（各ユニット）
5月	すみれレク、五月人形飾り付け
6月	誕生日レク、おやつレク（各ユニット）
7月	すいか割りレク、誕生日レク（各ユニット）、七夕飾り付け
8月	夏祭りレク、おやつレク（各ユニット）
9月	敬老レク、誕生日レク（各ユニット）
10月	運動会レク
11月	誕生日レク（各ユニット）
12月	クリスマスレク（各ユニット）、鏡餅作成レク
1月	誕生部レク（各ユニット）、書初めレク
2月	節分レク（各ユニット）、誕生日レク、おやつレク、バレンタインレク
3月	誕生日レク、食事レク（各ユニット）

○介護課

人材育成と職員定着を念頭に置き取り組んだ。上半期には派遣職員の契約終了を受け、介護課として柔軟な人員配置を実施。また従来以上に兄弟ユニットは1フロアという事を意識した上での、業務体制の構築を目指し、より良いサービスの実施・ケアの提供に努めた。コロナ禍により外部研修の実施が難しい状況ではあったが、委員会を通じ施設内における勉強会を計画的に実施した。

○支援課

毎月定例で入居選考会議を実施し待機者の確保・把握に努め、入所前面接を計画的に行う事で円滑な入居支援を行った。

○栄養管理課

①栄養ケアマネジメント

定期の体重測定・血液検査を基に各入居者の栄養状態・身体状態の把握に努め、ケアマネジャーと連携し本人や家族様の意向を含めた栄養ケア計画の作成を行った。またリスク度に関わらず、全ての入居者様に対して毎月モニタリングを実施した。

②食事の提供について

コロナ禍の影響を受け、生きる意欲や喜びに繋がる食事として計画していた大きなイベントなどが開催する事が難しい年度となったが、ユニット単位における、入居者様に寄り添った形での小規模なレクリエーションの実施に努め、結果として計画とは異なる形となったが積極的な取り組みを実施する事ができた。

③情報の共有・提供

栄養課として毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行った。また4月度において年次で行っている嗜好調査を実施し、SNSや運営推進会議を活用し情報発信も努めた。

○健康管理課

嘱託医・他職種と連携を図り、入居者の身体状況の把握及び健康管理を行う事で異常の早期発見に努めたが、高齢化・重症化に伴い入院人数・入院日数共に昨年度より大きく増加した。コロナ禍においては感染症対策が強く求められた一年であり、医療職として職員の知識向上を図り、緊急時の対応・感染予防・事故防止に繋げる事ができた。年度終盤における嘱託医の変更の際には、業務に支障が出ないように情報整理・伝達に努めた。

2. 在宅サービス部

ショートステイは前年度下半期からの稼働率 100%超えを維持継続。10 月には最高稼働率 119.7%を達成。外部居宅支援事業所からの信頼も獲得でき安定した事業運営ができた。今後も最大限の受け入れを継続しながら、介護職員と相談員が密に連携しスムーズな入退所やソフト面での充実に力を注ぐ。

デイサービスセンターは引き続き新型コロナウイルスに翻弄されながらも、感染予防対策の徹底により 1 日も事業休業することもなく運営ができた。年間平均利用者数は前年度と変わりなく 22.2 名を維持することができたが次年度は少しでも利用人数が増える様に努力をする。

ヘルパーステーションはインカム機器導入による職員同士の情報共有がリアルタイムに行われ、ご利用者への素早いケアが可能になった事で、体調不良時の他職種連携がより強化され安定した在宅生活の要となった。今後も利用者様の介護度上昇に合わせた対応を実施していく。

ケアプランセンターは主任ケアマネの資格取得や新任職員育成など多忙な中でも順調に給付管理数を伸ばし 12 月より給付稼働率が 100%を超え、3 月には過去最高となる稼働率 107.1%を達成した。

サービス付き高齢者向け住宅は入退居の動きが激しい 1 年間ではあったが年間を通して平均 38 室越を維持できた。

以上から、在宅サービス部は各事業所が過去最高の実績数値を叩き出し運営に貢献ができた。今後も特養サービス部、本部管理部との連携を密にして、より安定した事業運営構築を目指す。

➤ 短期入所施設 きよみず苑（ショートステイ）

2021 年度においては、昨年度末からの積極的な利用者受け入れによる高稼働率の流れを絶やす事なく円滑な受け入れ対応に努めた。また引き続き、新型コロナ感染症の感染防止対策として、常に周辺地域における感染情報の収集や利用者の他施設利用状況の把握に努め、徹底した水際対策を講じた事により、1 日も受け入れを止める事なく事業運営ができた。また、丁寧なケア、接遇マナーを意識し、継続利用者の定着利用を念頭に置き取り組んだ結果、新規受け入れ者は前年度を下回る 25 名でありながらも年度平均稼働率では前年度を大幅に上回る 110.7%という実績を残す事ができた。

1 利用の状況（2021 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	12	26	38	300	322	107.3
5 月	7	22	29	310	313	101.0
6 月	11	18	29	300	316	105.3
7 月	10	23	33	310	323	104.2
8 月	12	22	34	310	350	112.9
9 月	12	24	36	300	346	115.3
10 月	14	18	32	310	371	119.7
11 月	14	18	32	300	341	113.7
12 月	11	10	21	310	364	117.4
1 月	8	13	21	310	332	107.1
2 月	8	18	26	280	317	113.2
3 月	9	14	23	310	346	111.6
合計	128	226	354	3,650	4,041	
平均	10.7	18.8	29.5		336.8	110.7

2021 年度 新規利用者 25 名
 参考 2020 年度 新規利用者 38 名 平均利用者数 30.3 名 平均稼働率 93.5%

2 介護度別の延利用者数 (2021年度)

	要支援	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	6	11	57	117	62	69	322	3.1
5月	0	7	8	65	113	56	64	313	3.3
6月	0	0	14	55	128	64	55	316	3.2
7月	0	2	18	59	103	81	60	323	3.2
8月	0	4	30	30	159	51	76	350	3.1
9月	0	4	30	29	143	55	85	346	3.2
10月	0	6	40	30	150	59	86	371	3.2
11月	0	7	42	30	122	64	76	341	3.3
12月	0	6	40	30	147	62	79	364	3.1
1月	0	9	21	34	127	72	69	332	3.1
2月	0	7	45	27	102	66	70	317	3.3
3月	0	6	33	19	139	68	81	346	3.3
合計	0	64	332	465	1,550	760	870	4,041	
平均	0	5.3	27.7	38.8	129.2	63.3	72.5	336.8	3.18

参考 2020年度 平均介護度 3.1 合計延利用者数 3,412人

3 利用者の年齢構成 (2021年度利用者実績)

	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	計
人数	0	0	8	8	12	24	10	8	70
割合	0%	0%	11%	11%	17%	34%	14%	11%	100%

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2021年度は目標平均利用者数を達成できない月が続き苦戦を強いられたが、9月には開設以来の最高数値23.7名を達成。10月より機能訓練加算等の算定を開始しその後は順調に進んだが、1月より入院や体調不良が増え目標平均利用者数としては前年度と変わらない結果となった。しかしながら、新型コロナウイルスが依然として猛威を振るう中、感染防止対策の徹底により1日も事業を休止することなく事業運営を行うことができた。

1 利用の状況 (2021年度) ()内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	26	69(22)	578(212)	22.2(8.2)
5月	26	66(20)	576(197)	22.2(7.6)
6月	26	67(20)	581(208)	22.3(8.0)
7月	27	68(20)	600(207)	22.2(7.7)
8月	26	67(22)	574(215)	22.1(8.3)
9月	26	67(22)	612(239)	23.5(9.1)
10月	26	66(22)	617(248)	23.7(9.5)
11月	26	64(21)	588(229)	22.6(8.0)
12月	25	63(21)	568(218)	22.7(8.7)
1月	24	60(21)	500(211)	20.8(8.7)
2月	24	63(22)	513(204)	21.4(8.5)
3月	27	62(21)	570(206)	21.2(7.6)
合計	309	782(254)	6877(2594)	22.2(8.3)

参考 2020年度の延利用者数は**6886(2211)**、1日平均利用者数は**22.2(7.3)**

2 介護度別の延利用者数 (2021年度) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	79	91	78	81	67	72	61	72	81	64	70	66	73.5
介護2	144	143	139	143	157	165	173	160	165	150	115	106	146.7
介護3	189	211	251	253	235	255	263	245	206	182	217	270	231.4
介護4	35	38	30	28	27	29	29	28	28	26	25	21	26.3
介護5	27	27	16	24	22	22	24	22	35	32	35	38	27
計	474	510	514	529	508	543	550	527	515	454	462	501	507.3
支援1	4	5	3	5	4	4	0	0	0	0	0	0	2.1
支援2	64	61	64	66	62	65	62	59	53	46	51	60	59.4
申請中	36	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	9	4.3
計	104	66	67	71	66	69	67	61	53	46	51	69	65.8
合計	578	576	581	600	574	612	617	588	568	500	513	570	573.1
平均介護度	2.32	2.36	2.36	2.37	2.38	2.38	2.42	2.40	2.41	2.44	2.48	2.54	
稼働率(%)	88.9	88.6	89.3	88.8	88.3	94.2	94.9	90.5	90.9	83.3	85.5	84.4	89.0

参考 2020年度の平均稼働率は、**88.8%**

3 研修受講状況 (2021 年度)

4 月	役付職員研修 接遇 口腔ケア
5 月	熱中症・脱水
6 月	食中毒
7 月	感染症・尿路感染 非常災害時の対応
8 月	嚥下機能 身体介助
9 月	認知症と接遇 (I)
10 月	身体拘束・虐待
11 月	ノロウイルス 救命講習
12 月	事故発生と再発防止 リスクマネジメント
1 月	プライバシー個人情報保護
2 月	コンプライアンス・法令遵守 認知症と接遇 (II)
3 月	ハラスメント 緊急時対応

➤ ヘルパーステーション きよみず苑

ヘルパーの訪問件数は月に 500 件前後をキープし、昨年度よりわずかではあるが訪問件数も増加した。サ高住入居者の入退院、ADL の低下、体調不良、認知症の進行等は多くみられたが、インカム機器導入によりリアルタイムで職員間の情報共有が行われた結果、スムーズにサービスを提供することができた。介護保険外の自費サービスも増えておりインカム機器の利用価値は高い。また他事業所間との情報共有も意識。ケアマネジャーやデイサービスとも連携しデイサービスの振り替え利用や臨時利用もサポートすることができた。

1 利用の状況 (月別・利用件数) (2021 年度)

	総合事業			要介護				総合計
	生活型	介護型	合計	身体介護	生活介護	身体生活	合計	
4 月	3	5	8	307	149	7	463	471
5 月	3	8	11	308	150	6	464	475
6 月	4	9	13	290	147	5	442	455
7 月	3	9	12	321	155	5	481	493
8 月	3	8	11	330	147	8	485	496
9 月	4	10	14	318	143	6	467	481
10 月	3	13	16	340	147	9	496	512
11 月	0	12	12	369	154	5	528	540
12 月	0	12	12	346	141	6	493	505
1 月	0	7	7	346	139	8	493	500
2 月	0	11	11	295	137	8	440	451
3 月	0	14	14	348	147	9	504	518
合計	23	118	141	3918	1756	82	5756	5897

参考 2020 年度総合計数は 5788 件 (今期 109 件の増加)、身体介護は 3741 件 (今期 177 件の増加)

2 介護度別の実利用者数 (2021 年度) () 内はサ高住以外の外部利用者

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	2	7 (1)	9	10	3	0	31 (1)
5 月	0	3	7	9	11	4	0	34
6 月	0	3	7	8	12	3	0	33
7 月	0	3	7	8	12	3	0	33
8 月	0	3	7	7	13	3	0	33
9 月	0	3	7	7	13	3	0	33
10 月	0	3	6	11	11	2	0	33
11 月	0	2	7	9	11	2	0	31
12 月	0	2	7	9	10	2	0	30
1 月	0	2	6	11	10	2	0	31
2 月	0	2	8	11	9	2	0	31
3 月	0	2	7	11	9	2	0	31
合計	0	30	83 (1)	110	131	31	0	384 (1)

参考 2020 年度の合計 (延べ利用者数) は 381 (7) 名

3 介護保険外の利用者数 (2021 年度) (人)

	服薬管理	ラウンジ送迎	配膳下膳	通院	洗濯	自費(家事)	自費(身体)	合計
4 月	16	2	8	1	12	7	3	49
5 月	14	2	7	1	11	3	1	39
6 月	14	3	9	0	10	5	1	42
7 月	14	3	9	0	10	4	1	41
8 月	15	5	11	0	10	8	3	52
9 月	15	5	10	0	10	5	1	46
10 月	15	4	13	0	12	4	0	48
11 月	14	4	13	0	11	3	0	45
12 月	14	4	13	0	11	4	0	46
1 月	14	4	14	0	11	4	0	47
2 月	14	3	15	0	7	2	2	43
3 月	16	4	16	0	7	2	3	48
合計	175	43	138	2	122	51	15	546

参考 2020 年度の合計 (延べ利用者数) は 532 名

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2021年度は新たな職員体制となり、新人介護支援専門員の指導、居宅介護支援事業所の管理者要件である主任介護支援専門員の資格取得、そしてサ高住の訪問診療協力医師変更に伴う医療機関の調整を行った。

上半期は入院者数が多く給付管理数も伸び悩んだが、下半期は地域包括支援センターと連携し、外部利用者の受け入れを積極的に行い、12月には給付稼働率が100%を超え、3月末には過去最大75件の給付管理数を実現し、目標を達成する事ができた。

1 介護度別の給付管理数 (2021年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	13	13	12	13	12	12	17	22	27	27	27	28	223
介護2	23	21	20	20	20	21	21	20	22	23	22	21	254
介護3	16	13	15	16	18	17	18	18	18	18	19	21	207
介護4	4	4	4	3	4	6	5	6	5	4	5	4	54
介護5	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	10
計	57	52	52	53	54	57	62	66	73	73	74	75	748
平均介護度	2.03	2.21	2.27	2.23	2.25	2.35	2.22	2.07	2.05	2.03	2.06	2.05	2.16

2021年度の給付管理数合計のうち、サ高住件数は301件

参考 2020年度の給付管理数合計710件 (うちサ高住数341件)

平均介護度 2.29

2 介護予防受託数 (2021年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
要支援2	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	37
計	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	4	41

参考 2020年受託件数合計44件

3 研修受講状況 (2021年度)

4月	法人・役付職員研修、感染・褥瘡予防委員会勉強会(口腔)
5月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(脱水)
6月	主任介護支援専門員研修、感染・褥瘡予防委員会勉強会(食中毒)
7月	主任介護支援専門員研修、きよみず苑デイ勉強会(非常災害時)
8月	主任介護支援専門員研修
9月	法人研修(認知症ケアと接遇)
11月	事故防止委員会勉強会(身体拘束適正化の為の指針・虐待)
12月	山科区在宅医療勉強会(訪問診療について)、きよみず苑デイ勉強会(事故発生と再発防止・リスクマネジメント)
1月	きよみず苑デイ勉強会(プライバシー・個人情報保護)
2月	地域ケア会議(ACP)、サービス向上委員会研修(法令順守)
3月	法人研修(ハラスメント・認知症と接遇)

➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2021年度は高齢化に伴う施設入所等による退居はあったが空室待機者を確保する事により入居室数の維持に努めた結果、年間平均入居室数 38 件越えを達成できた。ヘルパー職員やデイサービス職員の気づきから入居者の体調変化を見逃さず早期受診を促し在宅生活の保持に努めた。また、コロナ禍で外出イベントを開催出来ない中、老舗料亭のテイクアウト弁当を企画。入居者から好評を頂き次年度も継続する事となった。

1 入居の状況（月末の契約数）（2021年度）

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	38	2	3	12	31	43
5月	39	1	0	12	32	44
6月	38	0	1	12	31	43
7月	38	1	1	11	32	43
8月	39	1	0	11	33	44
9月	39	0	0	11	33	44
10月	39	0	0	11	33	44
11月	38	0	1	11	32	43
12月	38	1	1	11	32	43
1月	39	1	0	11	33	44
2月	38	0	1	11	32	43
3月	37	0	1	11	31	42

2021年度 平均入居者数 **43.3** 名、新規入居室数 **7**、退居室数 **9**
 参考 2020年度 平均入居者数 **42.1** 名、新規入居室数 **4**、退居室数 **3**

2 入居者の年齢構成（2021年度末現在）

年齢	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	1	4	6	10	17	4	0	42
割合(%)	0	0	2.4	9.5	14.3	23.8	40.5	9.5	0	100

2021年度末の平均年齢は、**88.0** 歳
 参考 2020年度末の平均年齢は、**88.3** 歳

3 入居者の介護度（平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
自立	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.6
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.6
要支援2	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	55	10.6
要介護1	7	7	7	7	8	8	8	9	9	10	9	9	98	18.8
要介護2	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	15	14	161	31
要介護3	12	13	12	12	12	12	12	11	10	10	9	9	134	25.8
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.6
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	44	43	43	44	44	44	43	43	44	43	42	520	100
平均介護度	2	2.02	2	2	1.97	1.97	1.97	1.95	1.93	1.90	1.90	1.90	1.96	

参考：2020年度平均介護度は、**2.10**

4 行事・レクリエーション 実施状況（2021年度）

第1木曜日	たちばな健康体操
第2月曜日	マツヤスーパー買い物
第4木曜日	映画鑑賞会（ラウンジ）
毎月1回	管理栄養士による特別喫茶

その他、11月に老舗料亭の行楽弁当を企画・実施。

3. 本部管理部

本部管理部（法人本部）は、2021年4月1日の組織変更により「健康管理課」は特養サービス部に移行し、「施設管理課」と「栄養管理課」の2管理課体制に再編成となった。

本部管理部の職員一人ひとりが東旺苑、きよみず苑の両施設の業務を行う事により足りない人員を補い、他のサービス提供部門である特養サービス部、在宅サービス部のサポートを行った。

また、特養サービス部、在宅サービス部と緊密な連携を図り、情報を共有し、栄光会が一体として事業運営ができるよう円滑且つ効率よく進めて行ける部署として本年度も取り組んだ。

➤ 施設管理課

人事・経理・財務・保安・保守・営繕において、栄光会全ての部署に関連する課として、施設のハード面から人材確保・育成などのソフト面に至るまで各部門の運営が円滑に進むよう努めた。

○施設維持管理、保安・保守

- 1 東旺苑の設備維持管理業務については、建築後33年が経過した建物及び設備において、老朽化が激しく数ヶ所から雨漏りがするようになったため、屋上の防水工事を材料だけを購入し職員により防水工事を行った。また、設置後13年が経過した5台連結の給湯器の内1台が壊れ製造中止後10年が経過していたため部品が無く修理が出来なくなり、他の1台が壊れた場合施設全体にお湯が供給されなくなるため10月に契約し3月に以前と同じ仕様の最新機種に買い替えた。

さらに、中期計画で検討を続けていた照明器具のLED化の工事については、12月に施工業者と契約を交わしたが、新型コロナウイルス感染拡大によりLED蛍光灯の納品予定が立たなかったため施工は次年度早々に行う予定になっている。

外壁塗装など多額の費用がかかる修繕工事については長期計画を立て資金繰りを考えながら検討している。

また設備に対する保安・保守については、リースの場合はメンテナンスリースで契約を行い、買取又は再リースの場合は保守契約を行い、一度に多額の修繕費用が掛からないようにしている。

- 2 きよみず苑の設備維持管理業務については、建築後7年が経過し建物附属設備及び器具備品において使用頻度の高いエアコンや洗濯機、食洗器等が壊れてきている。また、開苑時のリース契約（期間5年、7年）の更新が有り劣化の少ない物は再リースを行い劣化の酷い物は新たに購入若しくは新規リースにより業務運営に支障が生じ無いようにしている。

保安・保守については、空調機フィルター清掃作業は業者によって年2回実施するなど、設備や器具備品のメンテナンスを欠かさないようにし、さらに正しい扱いの徹底や少しの異常でも施設管理課の職員が確認や調整に行くなど、機器を大切に継続して使用できるよう取り組んでいる。

その他、毎年職員が数名がかりで行ってきた建物周辺及び屋上の雑草処理を、防草シートの導入により軽減。これにより、建物の美化向上と維持のほか、業務の省力化と猛暑下での職員の作業を大幅に削減することができた。

- 3 防災防火管理においては、各施設の防火管理者のもと緊急時に相互に助け合える体制作りのために、継続して情報の共有等を積極的に行っている。但し、消防や防災の訓練は施設によって災害想定が異なるため、それぞれで独自に行っている。きよみず苑における防火管理者以外の職員（各責任者、夜勤職員等）の育成については、研修担当者を3名立てて1年間取り組みを進めたが、業務が多忙などの理由で一部を除き進展は見られない。介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）はまだ作成には至っていないが、消防計画に基づく災害に備えた職員体制に今年度は当初から変更、各防火管理者も各種研修を受講するなど、2024年からの義務化に備え準備を進めている。

*** 自主防災訓練の実施状況 (2021 年度)**

実施月	訓練内容	実施施設
11 月	自衛消防訓練(夜間想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
1 月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東 *各担当者のもと 4 回実施
3 月	京都市シェイクアウト訓練	全施設
	自衛消防訓練(夜間想定)	きよみず苑・京都東 *防火管理者のもと 2 回実施
	自衛消防訓練(日中想定)	
	土砂災害に係る避難訓練(情報収集・伝達訓練)	特別養護老人ホーム東旺苑

○人事労務関係

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特に小学生以下の児童を抱える職員への対応として自宅待機や休業など情報を収集し国の助成金活用など個々の状況に応じて取組を行った。

○人材確保

- 採用実績としては、前年度実績から 9 名増加の 27 名（職員紹介 11 名、WEB4 名、就職フェア等 2 名、ホームページなど直接応募 4 名、派遣から切替え 6 名）を採用、また退職者は前年度実績から 2 名増の 16 名であった。特に人件費を圧迫していた派遣職員比率の最小化を重点目標として取り組み、コロナ禍の影響でハローワークからの紹介採用は激減したが職員紹介や自社サイトを含むWEBサイトからの採用と派遣から直接雇用への切替によって派遣職員の雇用は期首 17 名から期末 2 名へ削減することができた。
- 派遣職員や非正規職員からの正規職員登用時に受給できる「キャリアアップ助成金」制度については、今年度は派遣から直接雇用へ切り替えた職員の申請 1 名、次年度に 2 名申請（派遣から正規へ切替えの内残り 1 名、及び非正規から正規へ切替え 1 名）の予定。しかしながら年毎に受給要件が厳しくなる一方で派遣職員の削減も進捗したため、今後は非正規職員から正規職員への登用による受給申請が中心となる。
- 直接雇用の介護職員確保のための国の政策「多様化する働き方改革」「同一労働同一賃金」の流れにも沿った賃金形態と採用形態の検討について今期は、それを行うまでもなく、派遣職員を削減し直接雇用を増やせた状況のため、直ぐには取り掛からず今後の課題として検討していく。
- 新卒採用については、ここ数年間は採用に結びつかなかったが、本年度は大卒者 1 名高卒者 1 名の内定結果であった。高校生についてはハローワーク主催の高校生セミナーの参加等でアプローチもでき、その後直接高校からの問い合わせに結びついた。
- 法人主催の合同研修は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、法人内全事業所一体型の合同研修を休止し、施設単位・事業所単位での小規模研修会に変更し実施した。

6 法人・役付職員研修会の開催状況 (2021 年度)

開催月	研修内容	講師	参加人数
4 月	2021 年度事業計画、人事考課と人材育成	統括施設長、各部部長 他	21 名

○地域貢献

地元の地域自治会に特養とサ高住単位で加入を継続中。しかし、毎年開催の地域自治会主催の定期的な催しへの参加や地域町内会の会議場所の無償提供、栄光会各施設で開催しているイベントへの地域住民の招待、防災訓練への参加の呼びかけ、山科区における市老協地域貢献プロジェクト事業など地域と連携し貢献するための取り組みなどは、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほぼ実施することができず、地域貢献は百々小学校区かぎ預かり事業や配食サービス事業実施など一部のみにとなった。

○経費削減・補助金利用

- 1 前年度は、2020年1月より続く新型コロナウイルス感染拡大によりマスク、アルコール消毒液及びプラスチック手袋が品薄となり、価格も何倍にも高騰し必要に迫られて購入せざるを得ない状況であったが、今年度に関しては、衛生材料、消耗品についてはコロナ禍前の状況に戻りつつはあるが、公共料金（電気料金、ガス料金）の値上がりは前年度に続きエネルギー高（原油、LNG）によるものである。また、2022年2月24日にロシアのウクライナ侵攻が始まってからは、世界情勢が不安定になりエネルギー高は一層進み、石油を原料とする商品の品薄及び値上げが始まり出しました。今年度については、年度末近くの出来事のため影響は少なかったが、次年度には大きな影響がでると思われる。
また、経費削減も難しく介護用品や衛生材料などの物品に関しては、相見積もりを取り単価を下げ、一回の購入量を多くして1個当たりの単価を下げるよう取り組んだ。
- 2 年々上昇する人件費に関して、派遣職員から直接雇用の職員に切り替えることなどを柱として人件費の削減を行ってきた。今年度に関しては、派遣職員から直接雇用に切り替えるための紹介手数料が約380万円掛かったが、10月までに派遣職員数を大幅に減らしていき、年度末には2人までになった。派遣職員数を減らしたことにより派遣職員費が前年度に比べ約2,900万円減少した。人件費全体では前年度に比べ1,100万円強減少させることができた。
- 3 東旺苑・きよみず苑両施設について、2021年10月に公益財団法人JKA（競輪とオートレースの補助事業）の新型コロナ緊急支援整備事業よりサーモカメラ4台（各施設2台）59.4万円の補助金を受給し、両施設において設置・整備することができた。

➤ 栄養管理課

栄養管理課としては、東旺苑、きよみず苑両施設共に、各部と連携し計画実行のものについては検証し、現在のサービスを精査しながらより良い「食・栄養」の提供をご利用者の「楽しみ」にする様に努めた。

○栄養管理課全般

- 1 毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、また改善点や食事提供方法などについて検討・情報共有を行い、より質の高い食事の提供ができた。
- 2 きよみず苑・京都東については、総合施設であるため、細かいトラブルが多いが、栄養管理課として迅速な対応に努めた。また今年で5年目になる月に1回のサ高住特別喫茶企画では、管理栄養士1人とヘルパー職員とが協力で行い、更に給食委託会社の職員の協力も得て、季節に応じた特別メニューを手作りで提供し入居者様の楽しみやコミュニケーションの増進に繋げた。サ高住で月一回の喫茶の継続を目標にし、毎月30名弱の参加者があり年々参加人数が増加し定着している。
- 3 嗜好調査や情報発信など
東旺苑、きよみず苑両施設及び配食のご利用者様の声を食事に反映できるよう、嗜好調査をサ高住とデイサービスは3月に実施、両特養は次年度4月に実施予定。また情報公開のため、フェイスブックへの投稿、運営推進会議への資料提供、家族や外部への情報発信を可能な限り行った。
- 4 市老協の会議や研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催されなかった。
- 5 2021年1月より職員の産休にとまない管理栄養士が一人体制となったが、他部署などの協力を得ながらサービスの質を継続できるよう努めた。

○東旺苑・配食サービス事業

法人の地域貢献事業の一つであり京都市の委託を受け東旺苑が実施する地域の要介護独居高齢者等への配食サービスに関しては、新規や停止等の変動が多く季節などにより数のバラつきもみられたが一年を通して、前年度と同食数程の件数は達成できた。次年度も積極的に新規の受け入れを行い、地域の独居高齢者の生活支援や安否確認など地域貢献に積極的に取り組んでいく。

*配食サービスの実施状況 (2021年度)

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	334食	0	0	334食
5月	362食	0	0	362食
6月	364食	0	0	364食
7月	388食	0	0	388食
8月	400食	0	0	400食
9月	370食	0	0	370食
10月	411食	0	0	411食
11月	396食	0	0	396食
12月	413食	0	0	413食
1月	419食	0	0	419食
2月	353食	0	0	353食
3月	335食	0	0	335食
合計	4,545食	0	0	4,545食
1日平均	12.4食	0	0	12.4食

参考 2020年度は、合計 **4,478食**、1日平均 **12.3食**

4. 法人事務局

本部管理部と連携し、人材確保、官公庁への届け出業務、新型コロナウイルスに対しての取り組みなどサポートしつつ、法人の事務局としての担当業務を行った。

○法人事務

東旺苑における施設の経年劣化について、本部管理部と連携し、特に屋上の防水劣化について、外部に発注しての屋上防水の施工作业は行わず、防水塗装を自ら行い経費削減に努めた。その他可能な限り自助努力で補修等を行い、消耗品の最安値価格での手配同様、経費削減に取り組んだ。

○法人事業広報活動

- ①サ高住の広報活動については、引き続き新型コロナウイルス対策により他事業所への訪問活動を自粛。次年度は収束をみて再開していく。
- ②ホームページや Facebook の運用について、本部管理部と連携し求人ページの更新で本年度はホームページからの直接応募採用が4名、Web サイトから4名と昨年以上の結果を得られた。

○理事会、評議員会等の運営事務

*理事会・評議員会等の開催状況（2021年度）

5月	監事監査	2020年度 会計、業務監査
	理事会	2020年度 決算報告・事業報告 2021年度 任期満了の理事、監事、評議員候補について 他
6月	評議員会	2020年度 決算報告・事業報告 他 2021年度 任期満了に伴う理事、監事の改選について
	評議員選任解任委員会	2021年度 任期満了に伴う評議員の改選について
	理事会（臨時）	2021年度 任期満了に伴う理事長の改選について
12月	理事会	2021年度 上半期収支報告・事業報告 他
3月	理事会	2021年度 補正予算
		2022年度 予算・事業計画 他

○助成金活用事業

- ①本年度は東旺苑の配食用車両の入替を目的に各種団体等への助成申請を積極的に行ったが、全て選考から漏れ実現には至らなかった。しかしながら車椅子については社会福祉協議会への申請が通り東旺苑に1台の新しい車椅子の寄贈を受けることができた。
- ②厚生労働省のキャリアアップ助成金については、派遣から正規職員に転換の1名分の助成金を申請。次年度に2名の申請を予定している。